

令和7年度 松戸市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

下水道事業は、公共用水域の水質保全や住民の生活環境の向上を目指し、下水道の効率的な整備・維持管理を行っています。

建設改良事業については、未普及対策、浸水対策及び施設改築を重点的に実施しました。

未普及対策では新たに21.58haの区域で供用を開始し、浸水対策としては、松戸新田地区の浸水を解消を図るため、令和2年度から長津川雨水幹線工事の整備を進めており、令和6年度から上流区域の工事を実施しています。施設改築では「松戸市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、管路施設のカメラ調査及び小山ポンプ場のポンプ更新工事を実施しています。

(業務の状況)

本年度の普及率は90.71%で、前年度に比べ0.49ポイントの増加となりました。また、水洗化率は95.93%で前年度に比べ0.06ポイントの減少となりました。

有収水量は41,836,549m³で、前年度に比べ138,447m³の増加となり、有収率については81.20%で、前年度に比べ1.59ポイントの増加となりました。

(経営の状況)

経営状況については、収益的収支における下水道事業収益11,713,451,792円に対し、下水道事業費用が11,019,554,238円となり、差し引き純利益は693,897,554円となりました。

また、資本的収支においては収入額2,923,095,480円に対し、支出額は6,139,382,771円となり、収支不足額3,216,287,291円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額173,842,659円、過年度分損益勘定留保資金512,866,591円、当年度分損益勘定留保資金1,829,578,041円、減債積立金700,000,000円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

経営の健全性を示す経常収支比率は104.88%で、前年度に比べ0.51ポイントの減少となりました。償却資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は25.99%で、前年度に比べ2.94ポイントの増加となり、法定耐用年数を経過した管渠延長の割合を示す管渠老朽化率は14.95%で、前年度に比べ2.80ポイントの増加となりました。

2 会計

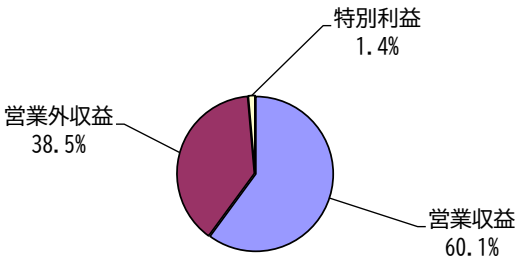
令和7年度決算

○収益的収入及び支出
(下水道施設の維持管理などに係る経費)

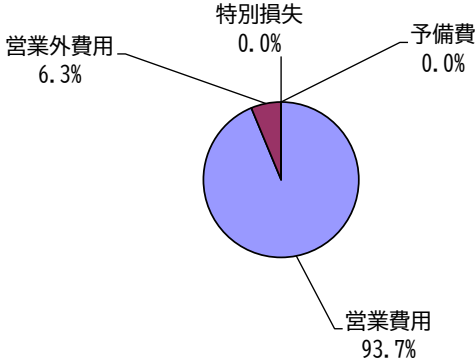
(単位：円)

	科目	説明	金額(税込)	構成比
下水道事業収益	営業収益	下水道使用料など	7,421,687,395	60.1%
	営業外収益	一般会計からの繰入金など	4,759,217,651	38.5%
	特別利益	過年度損益修正益など	172,403,233	1.4%
	収入計		12,353,308,279	100.0%
下水道事業費用	営業費用	下水道管・処理場の維持管理費、減価償却費など	10,765,928,842	93.7%
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費など	719,556,053	6.3%
	特別損失	過年度損益修正損など	83,171	0.0%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
	支出計		11,485,568,066	100.0%

収益的収入の構成



収益的支出の構成

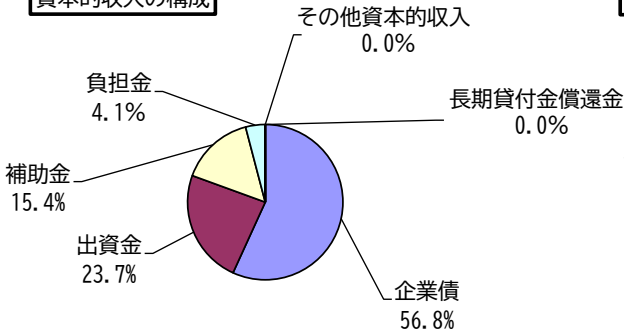


○資本的収入及び支出
(下水道施設の建設などに係る経費)

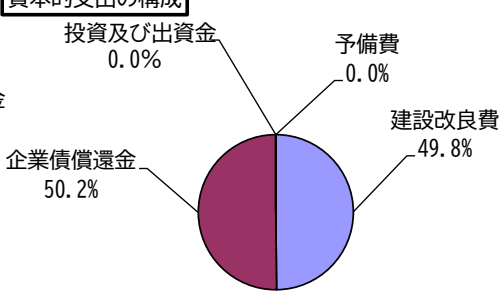
(単位：円)

	科目	説明	金額(税込)	構成比
資本的収入	企業債	企業債	1,660,900,000	56.8%
	出資金	他会計出資金	693,908,000	23.7%
	補助金	国からの補助金	449,122,300	15.4%
	負担金	下水道事業受益者負担金など	118,295,180	4.1%
	長期貸付金償還金	長期貸付金償還金	870,000	0.0%
	その他資本的収入	その他資本的収入	0	0.0%
	収入計		2,923,095,480	100.0%
資本的支出	建設改良費	下水道管の建設費用など	3,060,222,136	49.8%
	企業債償還金	企業債償還金	3,079,160,635	50.2%
	投資及び出資金	長期貸付金	0	0.0%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
	支出計		6,139,382,771	100.0%

資本的収入の構成



資本的支出の構成



○企業債現在高の推移

(単位：千円)	
	未償還元金
令和3年度	46,970,323
令和4年度	45,139,050
令和5年度	44,306,929
令和6年度	43,368,085
令和7年度	41,949,825

